

# 2016年12月期 決算説明会

ローランド ディー.ジー.株式会社  
2017年2月17日



# 2016年12月期 (2016年度) 連結業績

# 決算期について

- ❖ 当期2016年度より、単体・連結子会社ともに1月から12月が対象期間
- ❖ 「前期・2015年度」の計数は、当期2016年度と同様、1月から12月の対象期間に補正

		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期 2015年度 (補正前)	子会社	12ヶ月															
	単体				9ヶ月												
前期 2015年度 (補正後)	子会社	比較の対象12ヶ月															
	単体	比較の対象12ヶ月															
当期 2016年度	子会社	12ヶ月															
	単体	12ヶ月															

## ❖ 前期比 減収・減益

- サイン市場では厳しい競争が続き、プリンター売上が減少
- 米国、欧州、アジアは現地通貨ベースでは増収
- 為替円高により売上利益ともに減少

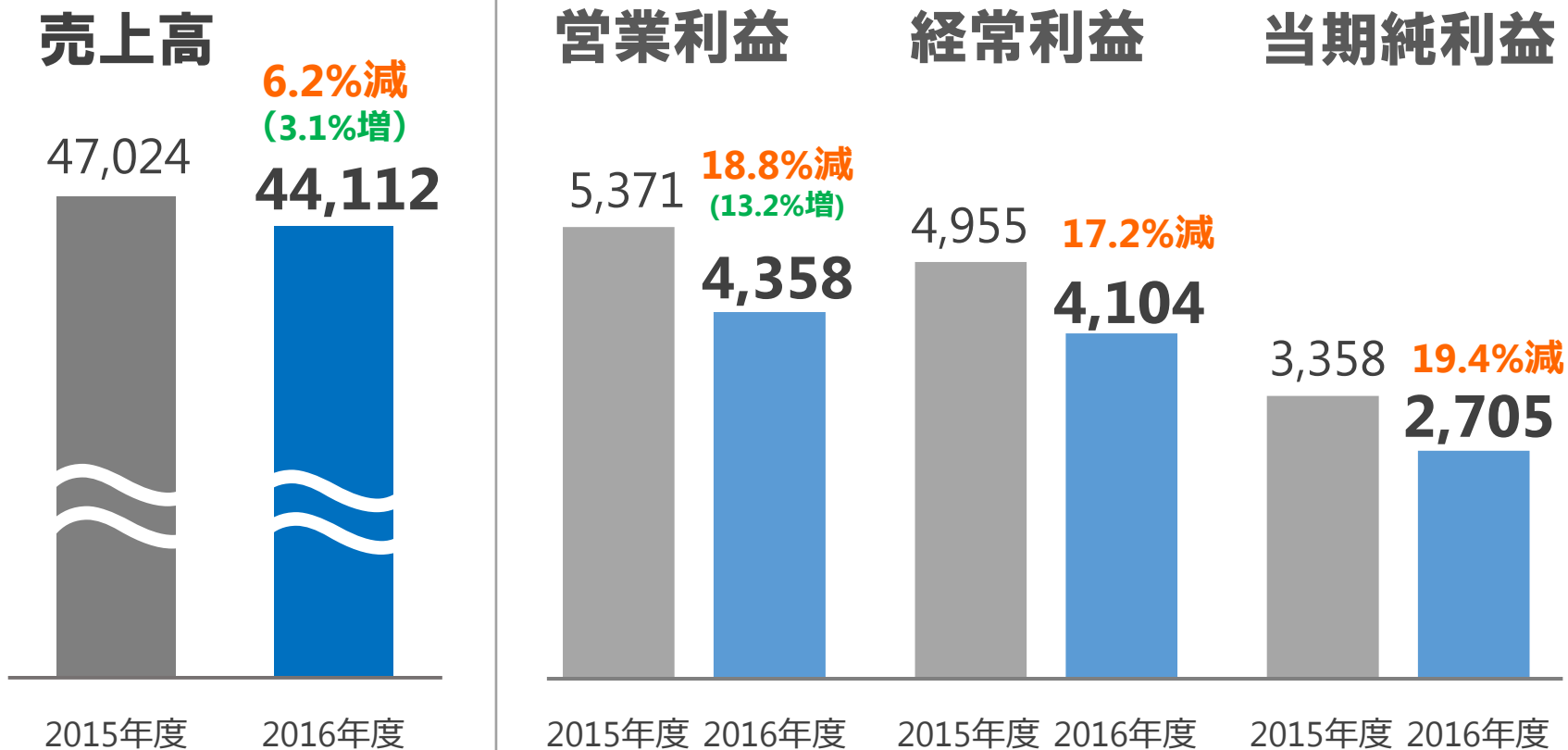
---

## ❖ 事業成長に向けた取り組み

- 「成長分野の事業化」に注力
- 成長分野へリソースの再配分を実施
- 特にデンタル分野とリテイル分野の売上が伸長

# 2016/12期(2016年度)連結業績

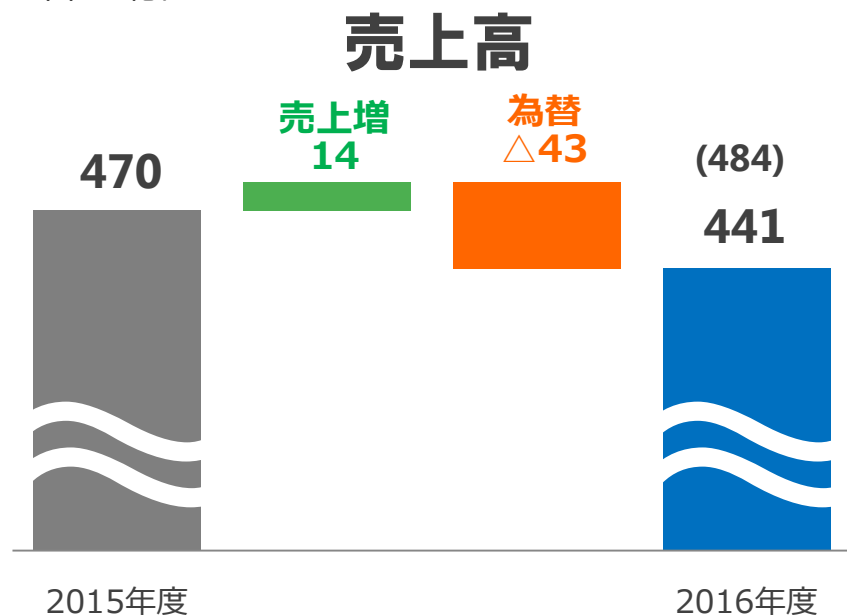
単位：百万円 ( ) の増減率は為替影響を除く実質ベース



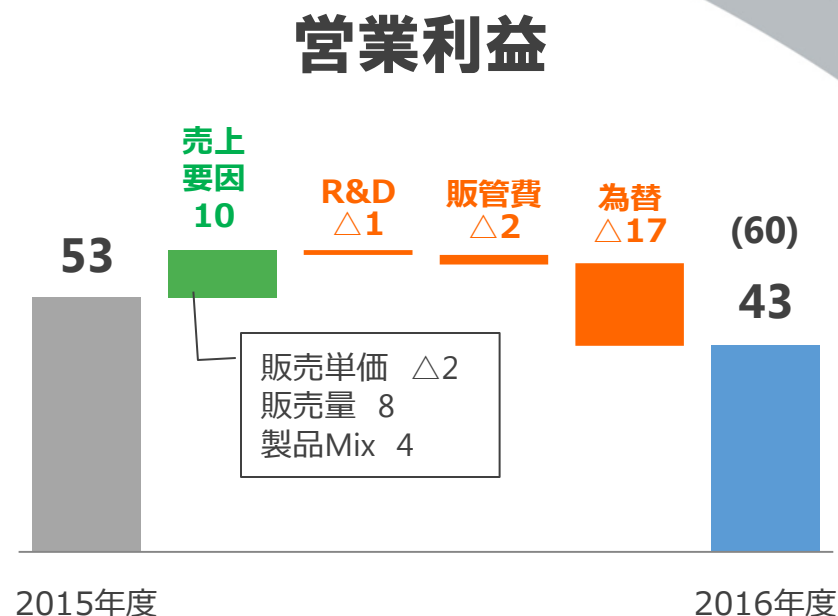
※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

# 売上高・営業利益増減分析 前期比

単位：億円



- 実質14億円増収
- 為替要因により43億円減収
- 合計29億円減収



- 実質7億円増益
- 為替要因により17億円減益
- 合計10億円減益

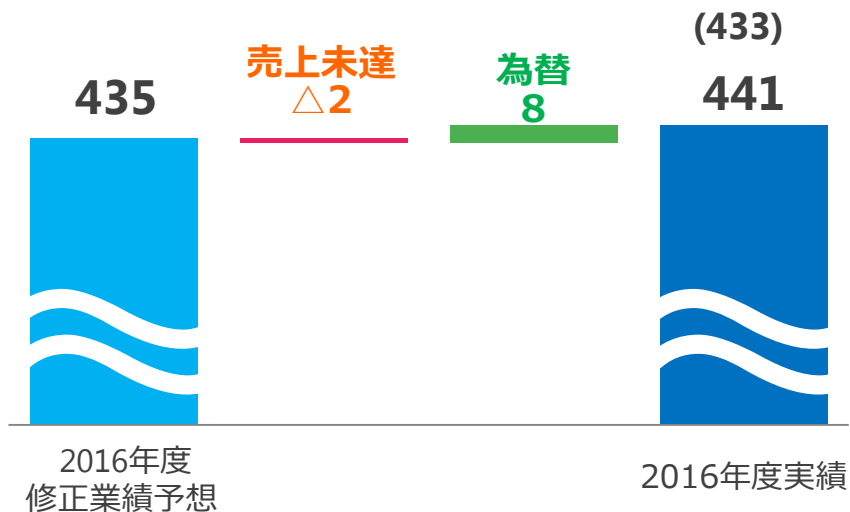
期中平均レート (単位：円)	2015年度 実績	2016年度 実績	
USD	121.06	108.88	89.9%
EUR	134.36	120.40	89.6%

( )は為替影響を除く実質ベース

# 売上高・営業利益差異分析 修正業績予想比

単位：億円

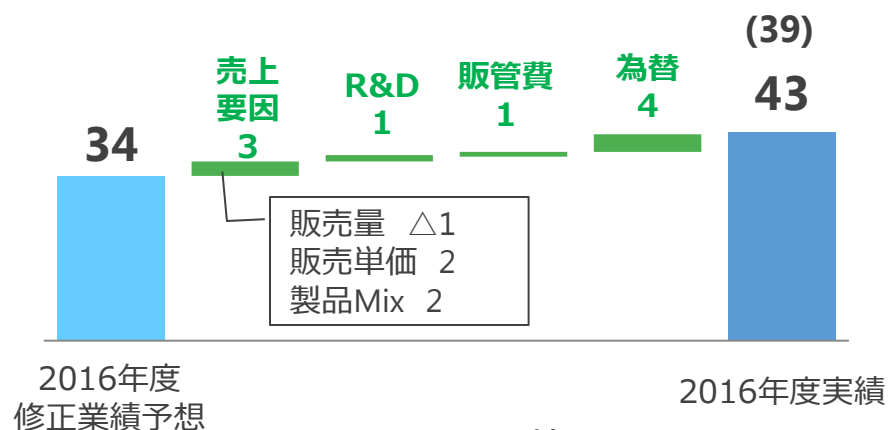
## 売上高



- 売上未達 △2億円
- 為替要因 8億円
- 合計6億円プラス

期中平均レート (単位：円)	修正業績 予想	2016年度 実績	
USD	106.00	108.88	102.7%
EUR	118.00	120.40	102.0%

## 営業利益













- 売上要因 3億円
- R&D・販管費抑制 2億円
- 為替要因 4億円
- 合計9億円プラス

修正業績予想値は2016年8月9日発表のもの  
( )は為替影響を除く実質ベース

# 2016/12期(2016年度) 事業動向サマリー

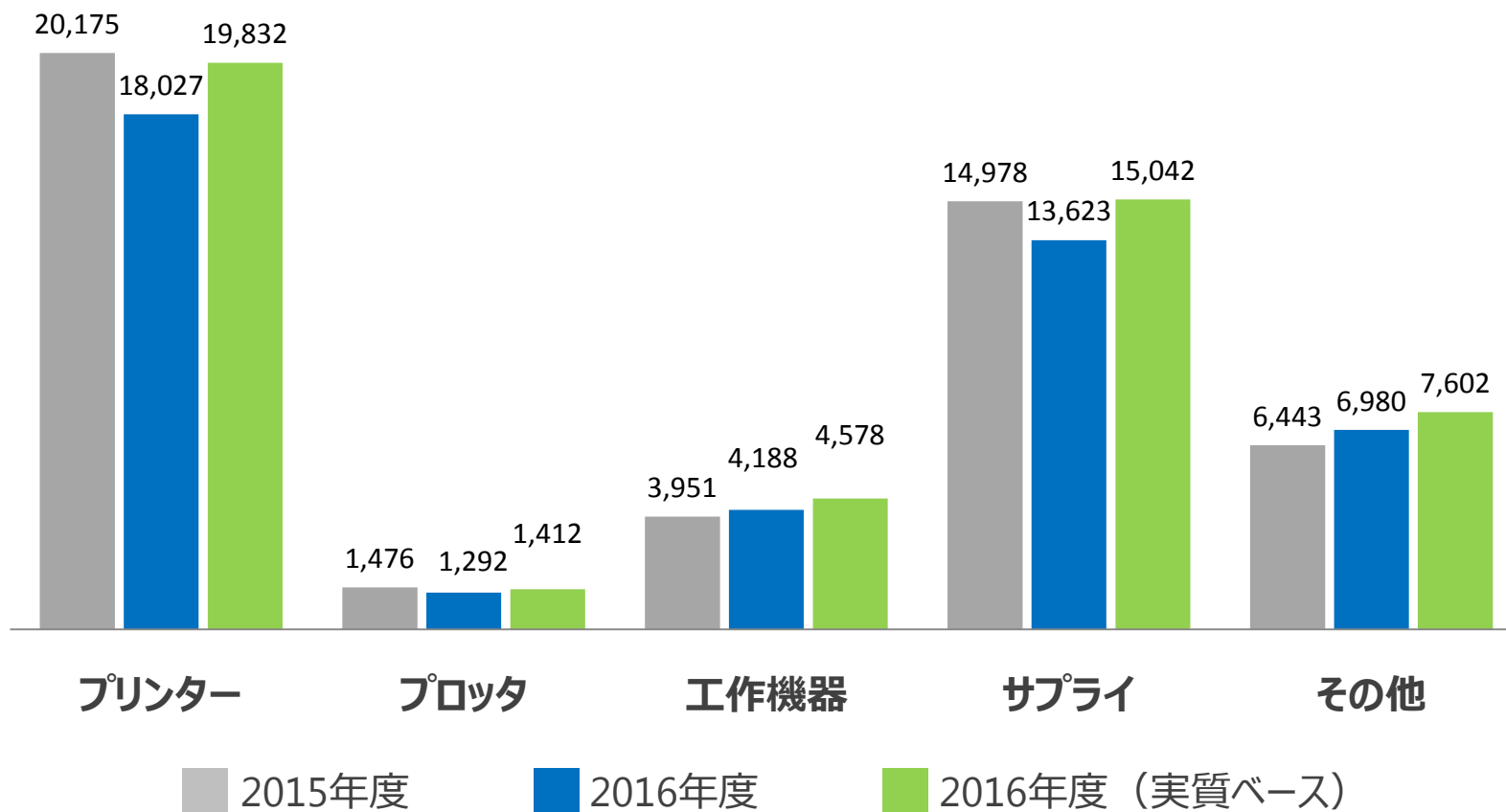
## 品目別

		前期比	前期比 (実質ベース)
<b>プリンター</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>小型UVフラットベットタイプは20%伸長</li><li>サイン用プリンターは減収</li></ul>	89.4% 	98.3% 
<b>プロッタ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>高価格帯機種種の販売が低調</li></ul>	87.5% 	95.6% 
<b>工作機器</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>デンタル加工機が20%伸長</li></ul>	106.0% 	115.9% 
<b>サプライ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>UVインクは15%増収</li><li>低溶剤インクは減収</li></ul>	91.0% 	100.4% 
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>主にサービスパーツ売上と保守契約が増加</li></ul>	108.3% 	118.0% 



# 2016/12期(2016年度) 品目別売上高

単位：百万円



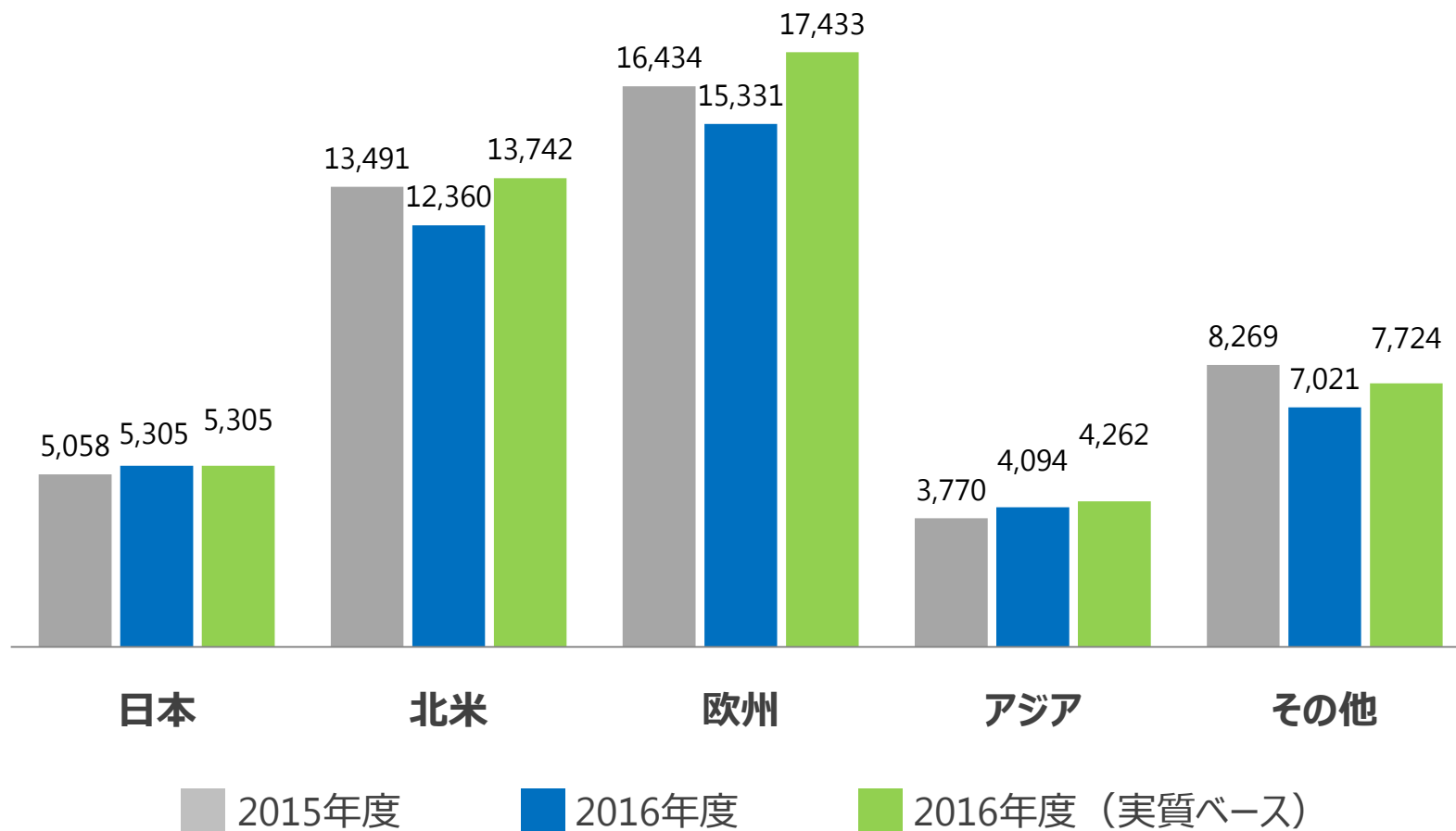
# 2016/12期(2016年度) 事業動向サマリー

## 地域別

		前期比	前期比 (実質ベース)
<b>日本</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>成長分野に向けたUVプリンター・デンタル加工機が伸長</li></ul>	104.9% 	104.9% 
<b>北米</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>サイン用プリンターの新製品とデンタル加工機が寄与</li><li>現地通貨では増収だが、円高影響により邦貨では減収</li></ul>	91.6% 	101.9% 
<b>欧州</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>専任者増強によりデンタル加工機が大きく伸長</li><li>現地通貨では増収だが、円高影響により邦貨では減収</li></ul>	93.3% 	106.1% 
<b>アジア</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>中国・韓国でUVプリンター・デンタル加工機の販売網拡充が奏功して売上伸長</li></ul>	108.6% 	113.1% 
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>ブラジルの経済情勢悪化に伴う販売鈍化で大幅減収</li></ul>	84.9% 	93.4% 

# 2016/12期(2016年度) 地域別売上高

単位：百万円



# 自己株式消却前後の主要指標

2016年6月1日付で、自己株式1,729,200株を消却

	2015年度末	2016年度末 (消却後)	(参考) 2016年度※
発行済株式総数 (株)	14,385,511	12,656,311	14,385,511
自己資本 (百万円)	22,910	20,617	24,032
自己資本比率	60.3%	56.7%	60.4%
1株当たり純資産 BPS (円)	1,608.94	1,647.59	1,687.66
1株当たり当期純利益 EPS (円)	173.36	<b>206.73</b>	190.02
自己資本利益率 ROE	11.0%	<b>12.4%</b>	11.5%

※ 2016年度末実績をもとに、自己株式を消却しなかった場合の参考値

# 連結貸借対照表

単位：百万円

## 2015年度末

現金及び預金 9,995	仕入債務 2,135	
	短期借入金 1,440	
	その他流動負債 5,104	
売上債権 4,427	長期借入金 4,320	
	その他固定負債 2,069	
たな卸資産 9,420	純資産 22,910	
その他流動資産 3,299		
固定資産 10,837		うち利益剰余金 16,167

資産合計  
37,980

負債純資産合計  
37,980

## 2016年度末

現金及び預金 10,003	仕入債務 1,923	
	短期借入金 1,440	
	その他流動負債 4,897	
売上債権 4,919	長期借入金 4,680	
	その他固定負債 2,783	
たな卸資産 8,368	純資産 20,617	
その他流動資産 2,360		
固定資産 10,689		うち利益剰余金 14,808

資産合計  
36,341

負債純資産合計  
36,341



利益剰余金  $\Delta 1,359$

当期純利益 2,705  
自己株消却  $\Delta 3,253$   
配当金  $\Delta 811$

為替換算調整勘定  
 $\Delta 475$  他

※短期借入金には1年内返済予定の長期借入金を含む

# 2017年12月期 (2017年度) 連結業績予想

## ❖ 前期比 増収・増益

- プリンター・サプライの増加に加えて、工作機器の大幅伸長を見込む
- 2017年度の想定為替レートは、前年実績と同水準

---

## ❖ 成長分野へ積極的にリソース配分を実施

- デンタルを中心とした「3D事業」のリソースを明確化し、同事業の成長を加速する
- 欧州での小売業向けリテイル市場の開拓事例を横展開する

# 2017/12期(2017年度)連結業績予想

単位：百万円

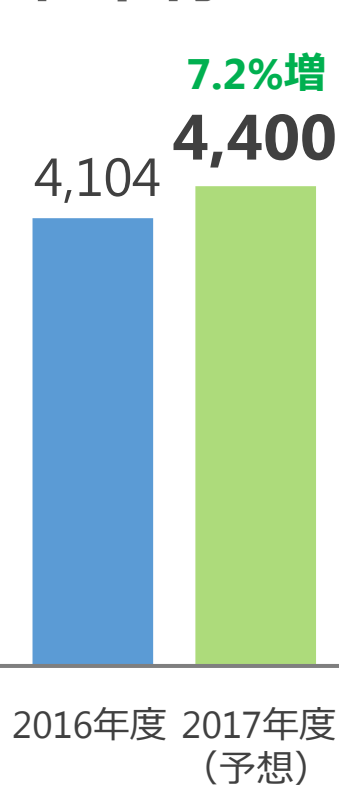
## 売上高



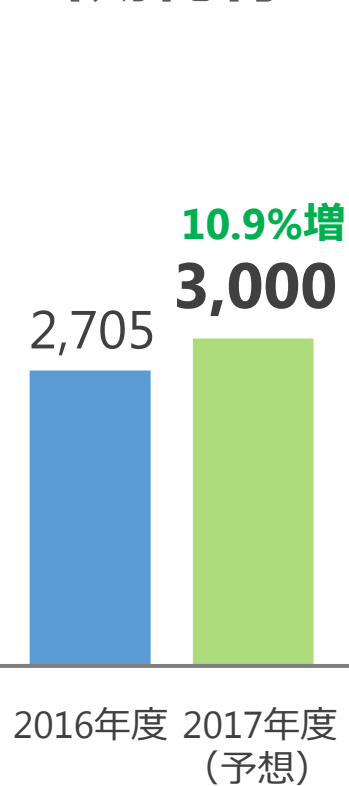
## 営業利益



## 経常利益



## 当期純利益



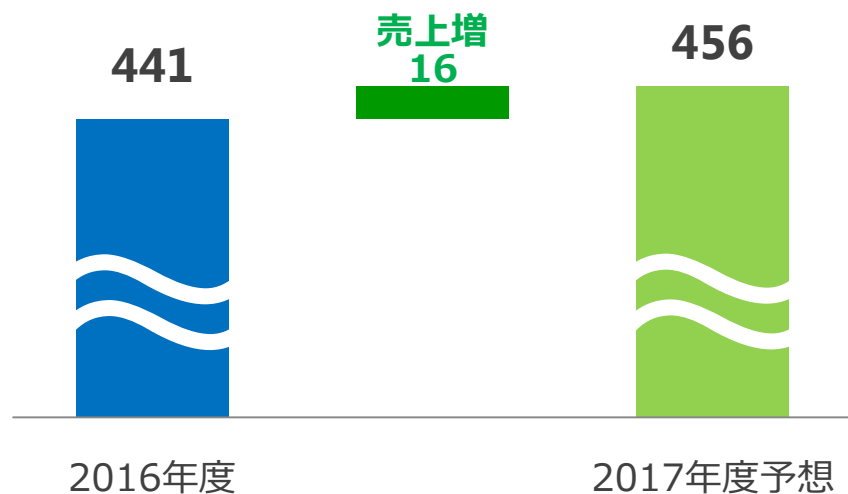
※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益



# 売上高・営業利益差異分析 前期比

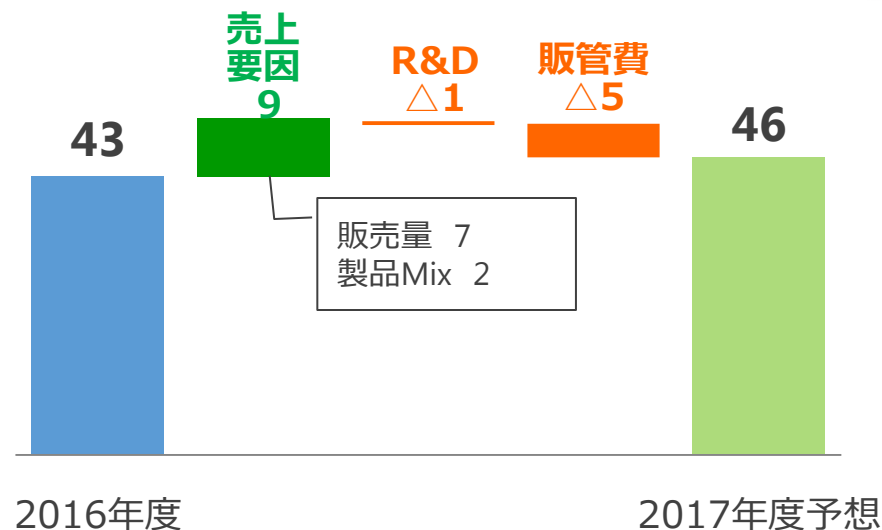
単位：億円

## 売上高



- 実質16億円増収
- 為替要因なし

## 営業利益

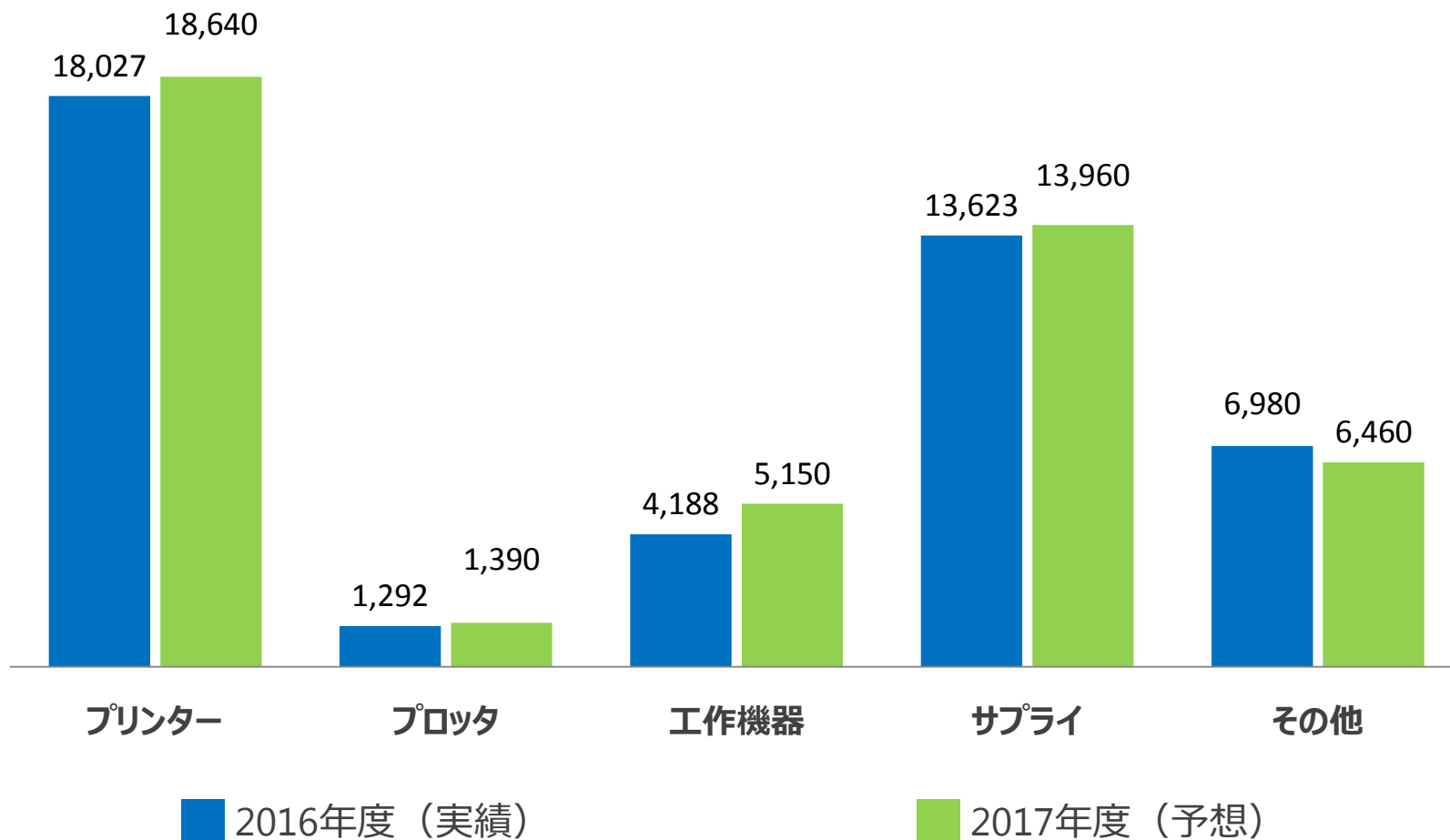


- 売上要因 9億円
- R&D・販管費増 △6億円
- 合計3億円増益

期中平均レート (単位：円)	2016年度 実績	2017年度 想定	
USD	108.88	110.00	101.0%
EUR	120.40	120.00	99.7%

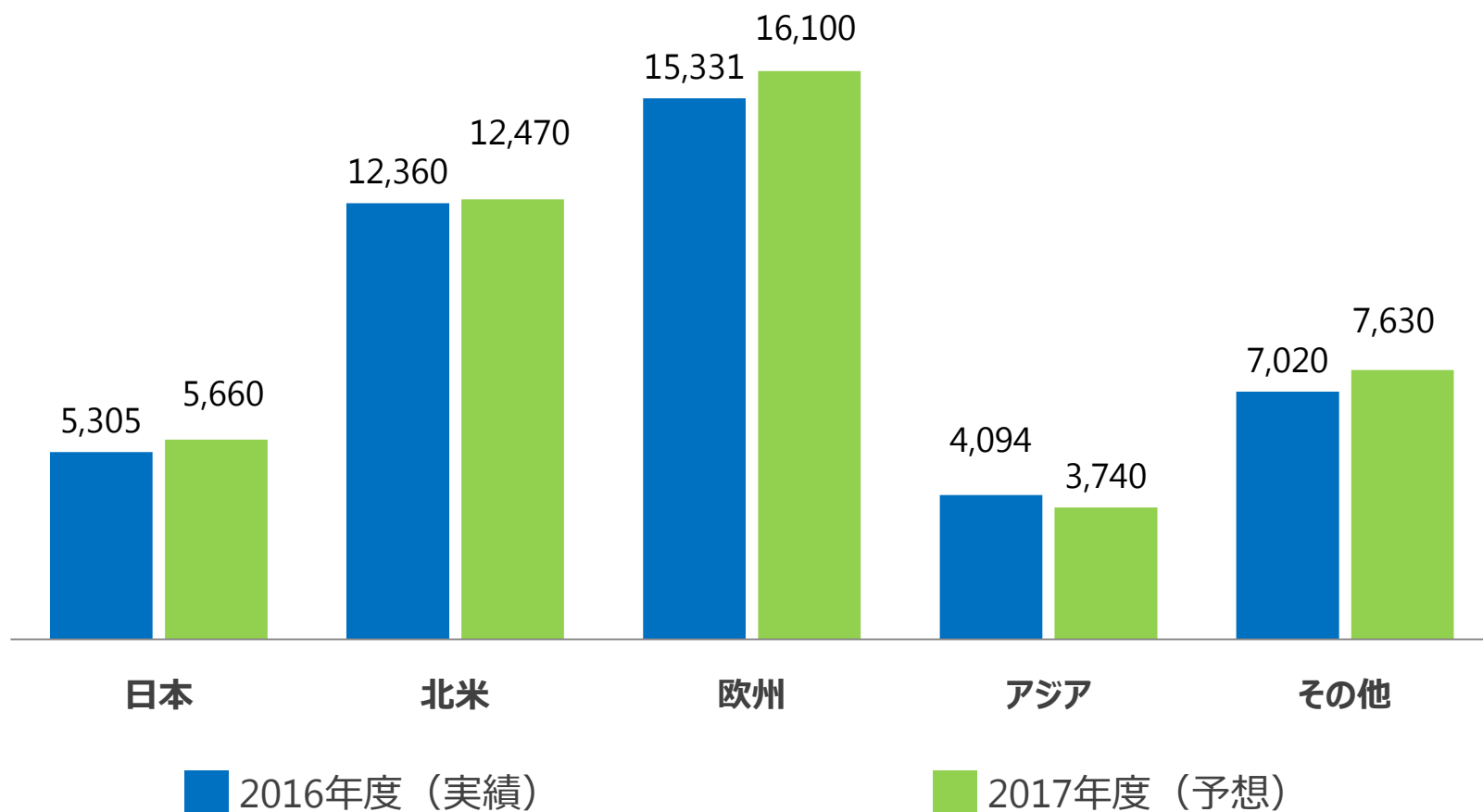
# 2017/12期(2017年度) 品目別売上高予想

単位：百万円



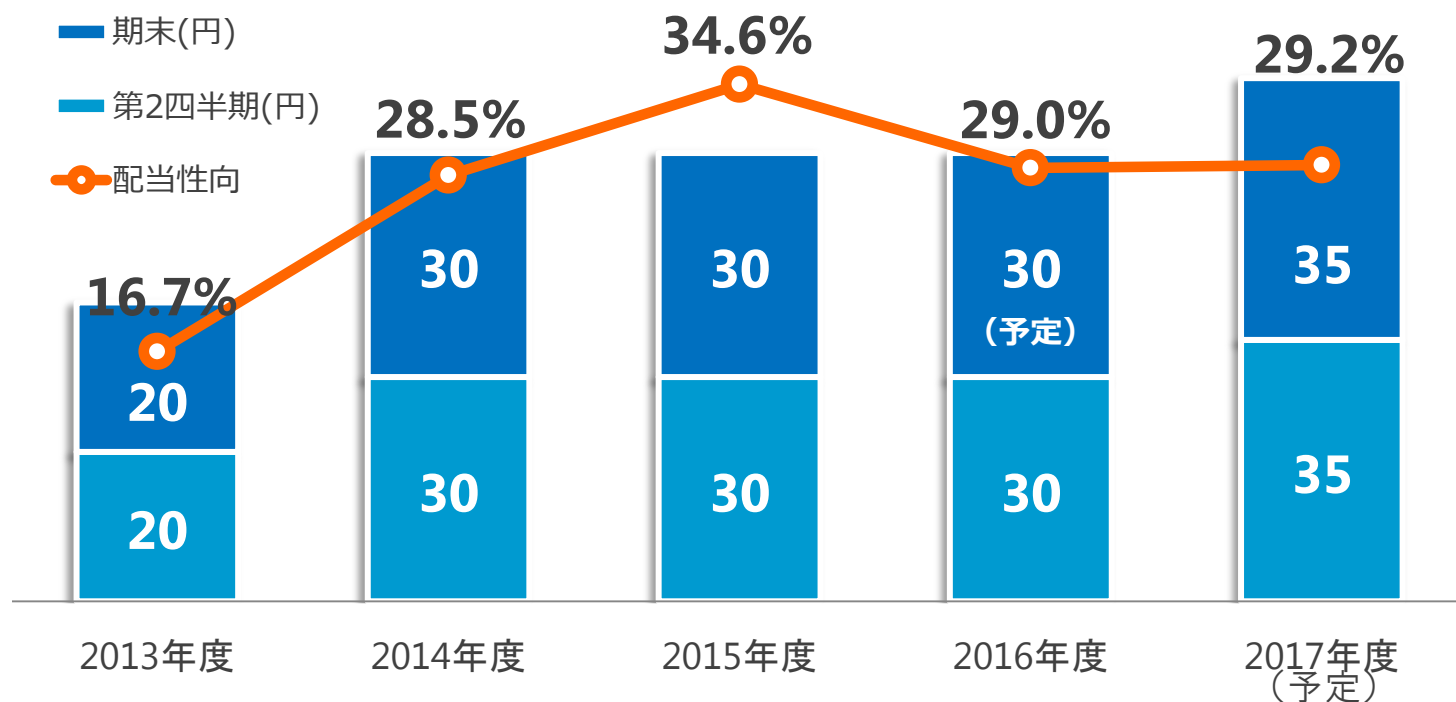
# 2017/12期(2017年度)地域別売上高予想

単位：百万円



# 配当予想

- ❖ 当期2016年度：期末配当は30円を予定
- ❖ 次期2017年度：第2四半期・期末とも35円、10円増配の年間70円を予定



# 役員人事(予定)

※就任予定日 2017年3月23日(木)

異動予定

取締役会長	富岡昌弘	(現 代表取締役会長)
代表取締役社長	藤岡秀則	
取締役副社長	デビッド・ゴワード	
常務取締役	堀田修史	
取締役	橋本浩一	(新任) (現 執行役員コーポレート本部長)
社外取締役	広瀬卓生	
社外取締役	奥田千恵子	
社外取締役	遠藤克博	
常勤監査役	中川正則	
常勤監査役	鈴木正康	
社外監査役	松田茂樹	
社外監査役	本田光宏	
( 退 任 )		
専務取締役	鈴木涉	

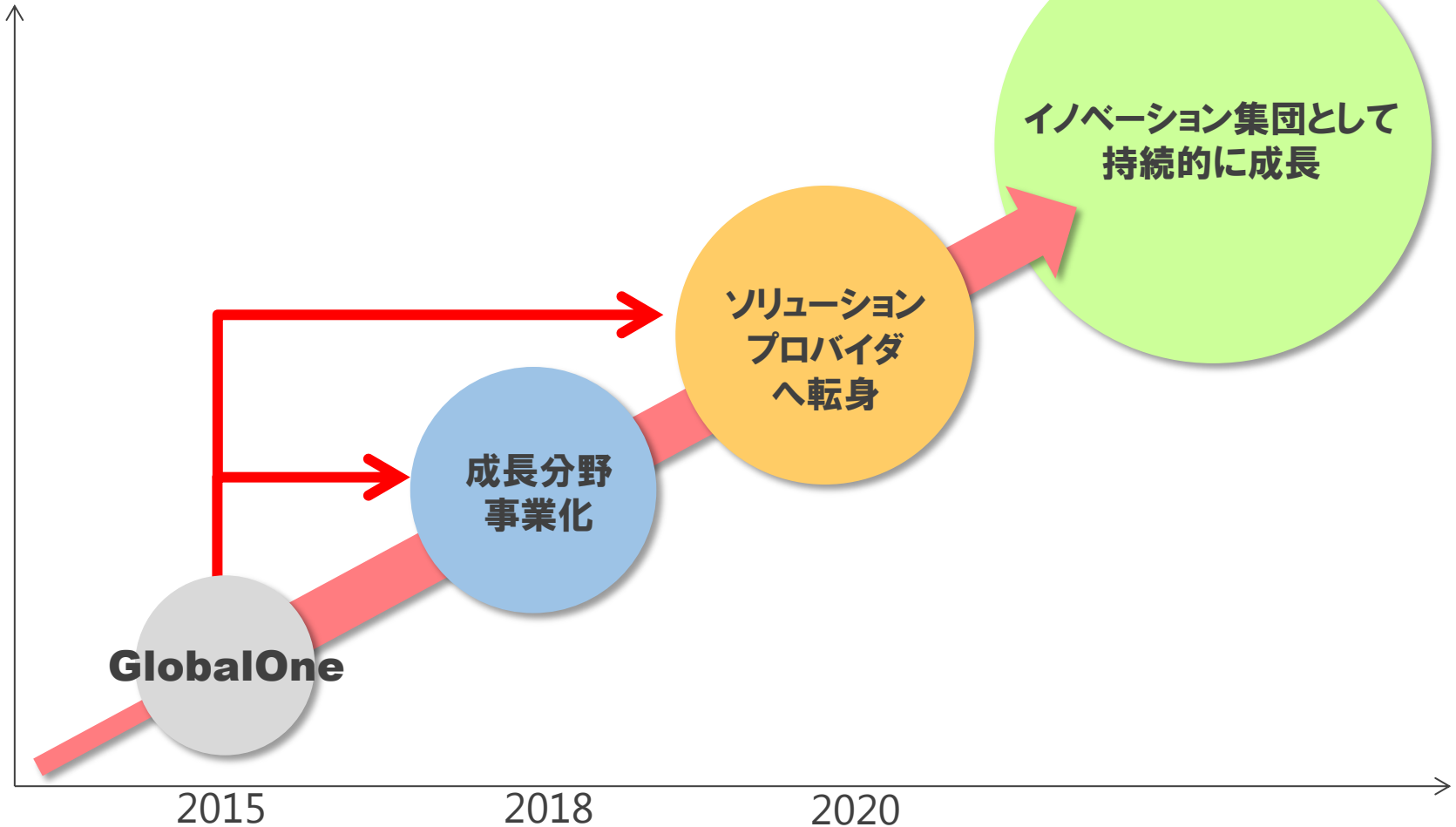
# 事業の概況

# 持続的成長へのロードマップ

## GrowthOne

### イノベーションによる持続的成長

企業継続性



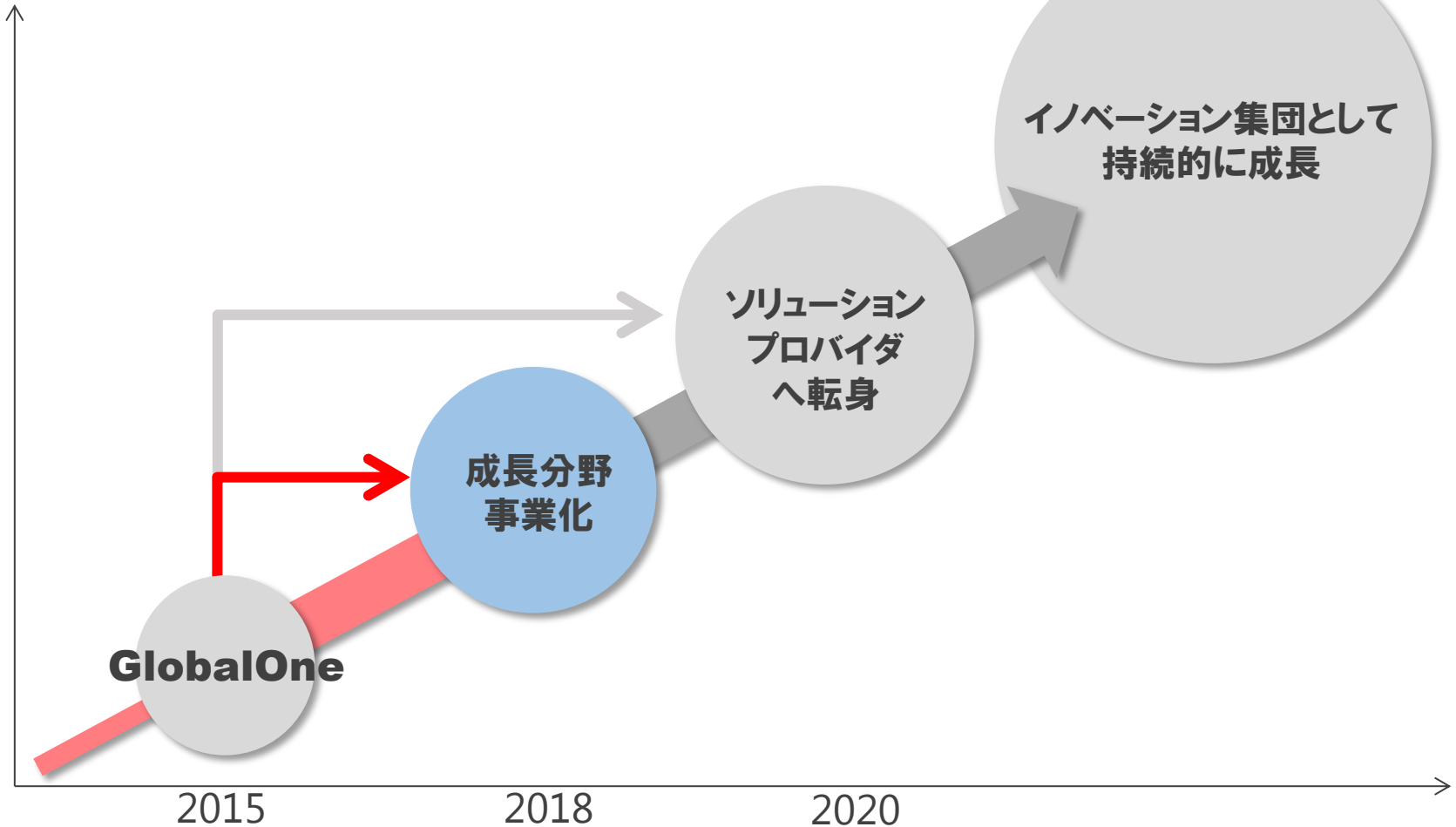
Imagine.  Roland

# 持続的成長へのロードマップ

## GrowthOne

### イノベーションによる持続的成長

企業継続性





事業領域

# Imaging & Healthcare

## 注力する成長分野

リテイル

テキスタイル

多用途印刷

サイン

デンタル

3Dものづくり

Imagine.  Roland

事業領域

# Imaging & Healthcare

注力する成長分野



**DGSHAPE**

ディージーシェイプ

デンタル

3Dものづくり

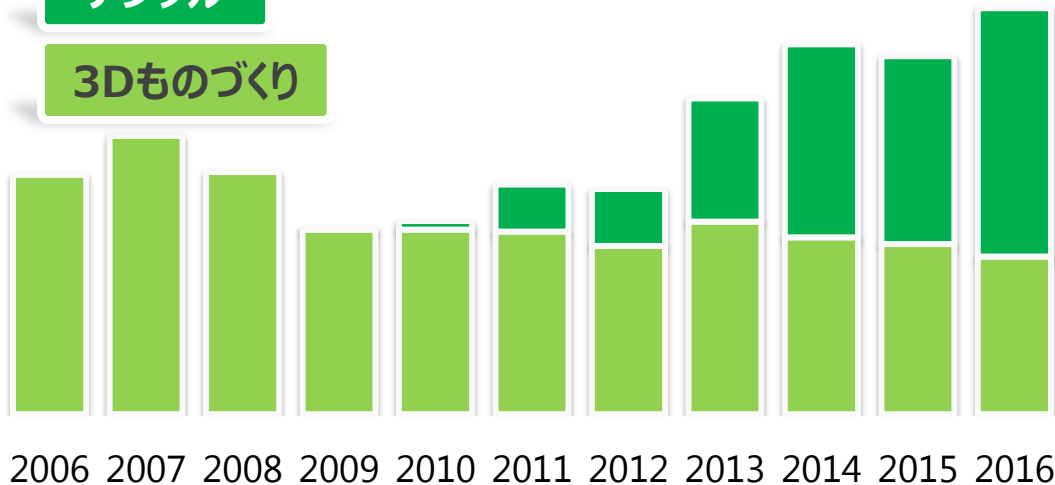
Imagine.  Roland

# DGSHAPE設立の背景

- 30年にわたりデジタルものづくりを推進
- 3Dものづくり分野は安定した売上げ
- デンタル分野を確立し事業を拡大

デンタル

3Dものづくり



歯科技工所における  
補綴物製作

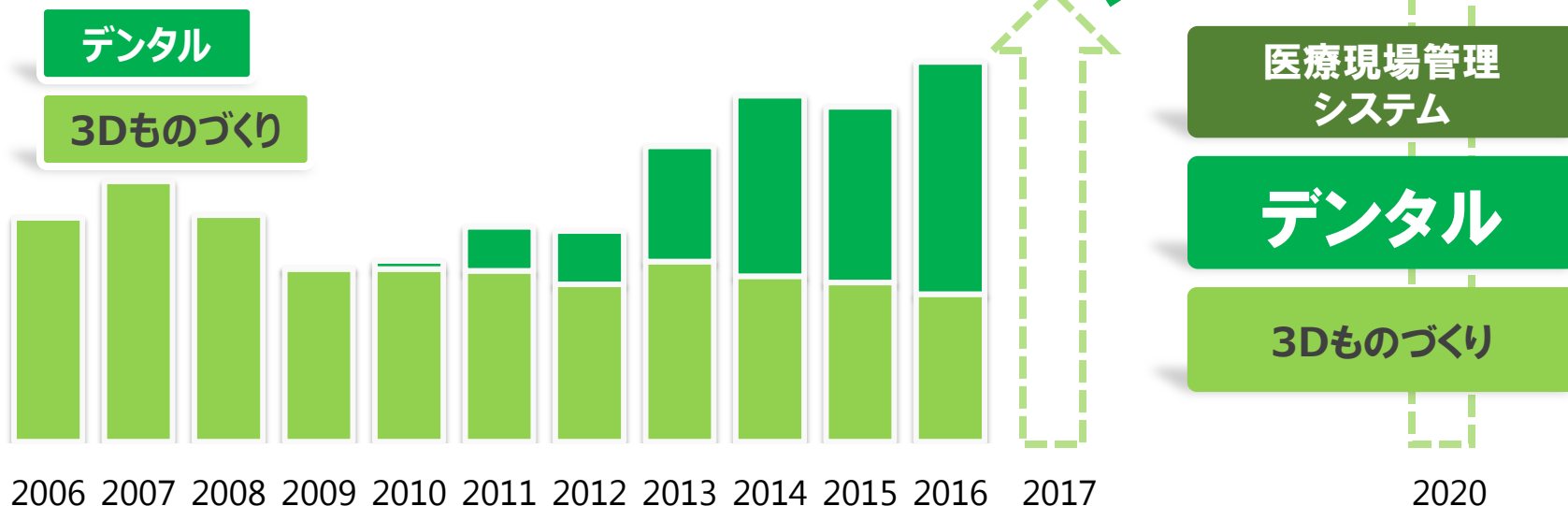


- 製造業での試作
- 教育分野
- ギフト/グッズ製作
- FABLAB
- Makers



# DGSHAPE設立の狙い

- 3D事業の焦点をデンタル分野へ
- 新たなブランドとして独立しスタート
- 意思決定をスピードアップし事業拡大を促進



# DGSHAPEの事業分野とミッション

## デンタル

- デンタル業界のトータルソリューションプロバイダー

## 3Dものづくり

- 次世代デジタル技術を活用した技術やソリューション開発で、ものづくりにさらなる価値を提供する

## 医療現場管理システム

- 医療現場管理システムのビジネス化で医療の安心・安全に貢献する

# デンタル: 当社の強み

オープンシステム

デジタルプロセスのトレーニング

コンパクト/スタイリッシュデザイン

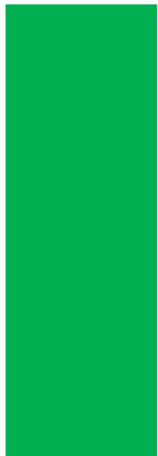
ワンボタンコントロール

充実のサポート



# デンタル:各地域での売上の伸長

22% UP



2015



2016

- 営業リソース増強により欧州中心に売上拡大

67% UP

15% UP

20% UP

2015 vs 2016

# デンタル:業界のデジタル化の進展

- デンタル業界のデジタル化が成長段階に

歯科技工所への拡販  
デジタル化推進によるクリニックの開拓

黎明/成長ステージ



世界の  
歯科クリニック数  
625,000軒




世界の  
歯科技工所数  
125,000軒

※ 歯科クリニック数および歯科技工所数は当社推定



# デンタル：ソリューションの充実

- 業界のデジタル化と用途や材料の種類に応じたソリューションの充実を図る

用途		材料			
		メタル系	セラミック系	レジン系	新規
クラウン & ブリッジ (かぶせ物)			■	■	■
インプラント		■	■	■	■
デンチャー (入れ歯)		■	■	■	■

■ 現在の DGSHAPE ソリューション  
■ 拡大可能性のあるエリア

# デンタル: デジタル化の進展と事業拡大

デンタル業界のデジタル化、補綴材料の進化の波を掴み、事業の一層の拡大を目指す

黎明/成長ステージ



用途/材料

クリニック

歯科技工所

# 3Dものづくり:新製品の投入

## 3次元切削加工機の新製品 **MDX-50**

2016年10月発売

汎用性、使いやすさ、安全性を追求し  
より幅広いものづくりに対応

- ワークエリア従来機比1.6倍
- ビルトインパネルで直感操作
- オートツールチェンジャー機能
- 高い安全性

# 3Dものづくり:教育分野への注力

## STEM教育分野の需要を開拓

安全性 / 簡単操作



米国高校での導入の様子

※ STEM教育 : Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、  
Mathematics (数学)、アメリカ経済の成長にこれらの分野を統合した教育が重要という考え方

# 医療現場管理システム:ビジネス化推進

- 院内業務効率化や医療の安全性向上へのソリューション提供
- 国内病院への提案を推進中、2017年度中のビジネス化を目指す



## 医療鋼製器具追跡管理の法制化の動き

- 米国：段階的に法制化が進んでいる
- 中国：法制化に向けた動きがスタート
- 日本：法制化に向けた官民推進協議会が発足

## 医療現場における鋼製器具管理の課題

- 人の手によるマニュアル作業が多い
- 作業内容が煩雑で標準化が難しい
- 効率が悪く病院の経営に影響

事業領域

# Imaging & Healthcare

注力する成長分野

リテイル

テキスタイル

多用途印刷

サイン

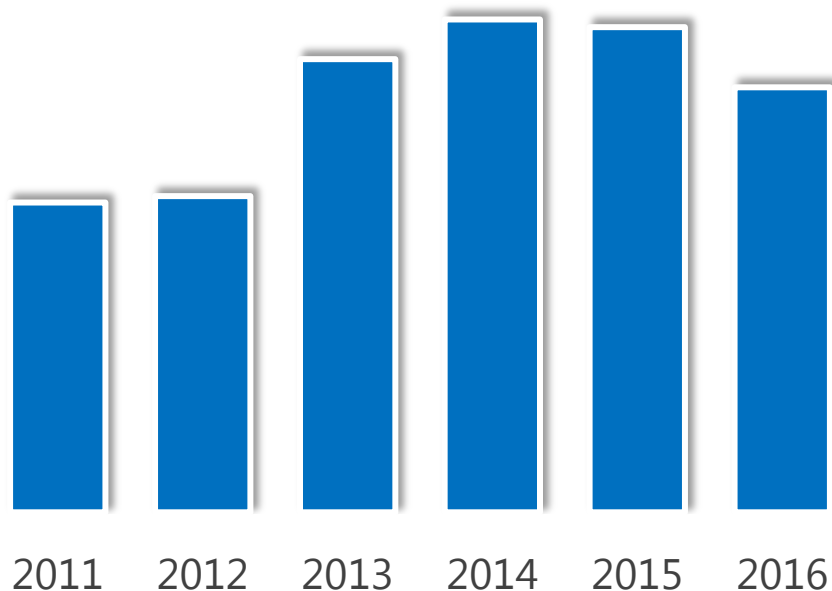
## デジタルプリンティング

Imagine.  Roland

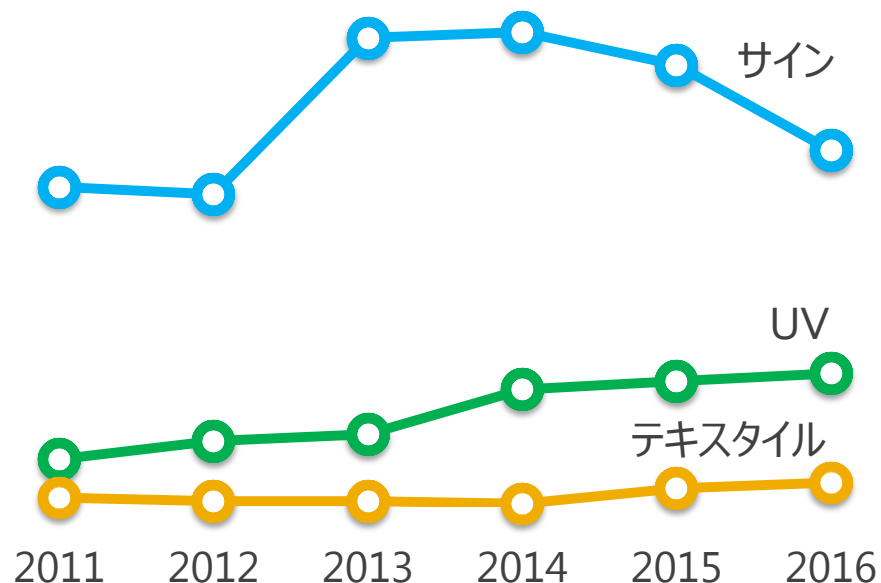
# プリンターの状況

## • UVやテキスタイルプリンターが下支え

プリンター売上高推移



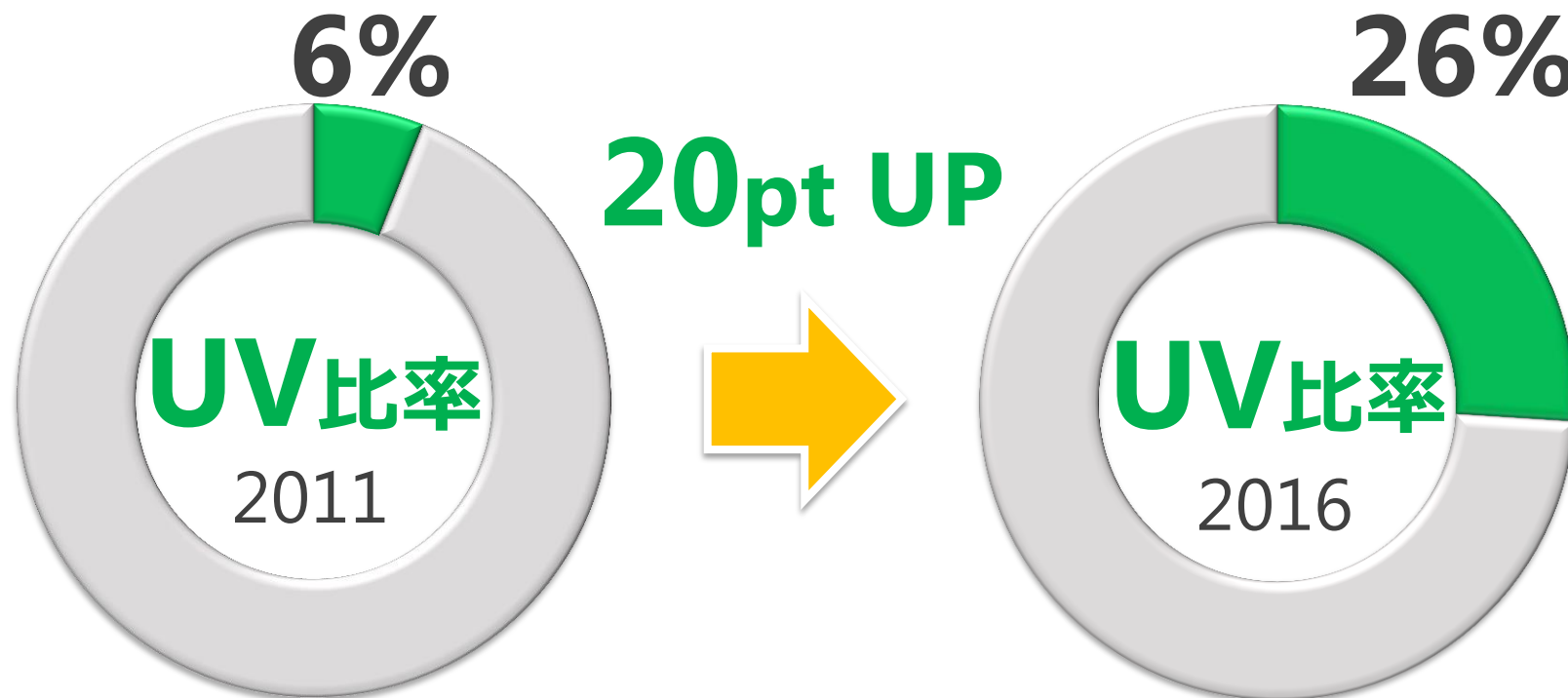
プリンター分類別売上高推移





# プリンターにおけるUVプリンター比率

- プリンター全体に占めるUVプリンター比率が5年間で20pt増加

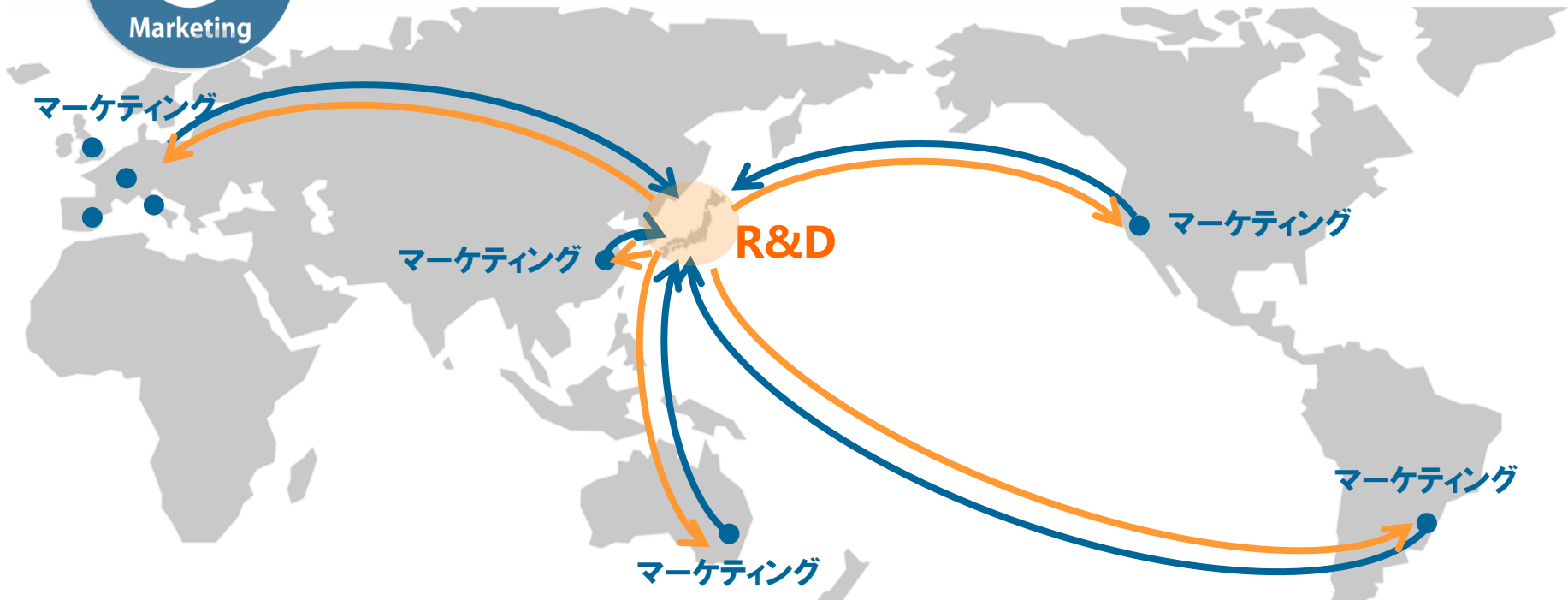




# 用途発掘と製品開発



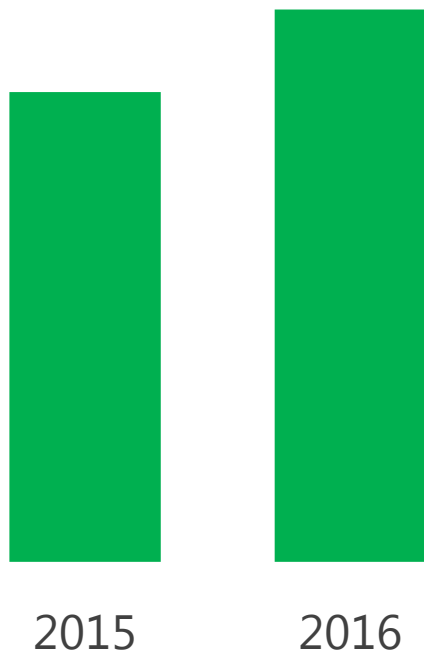
## 用途の発掘・開拓と市場ニーズの吸い上げ



# 小型UVフラットベッドプリンターの増加

小型UVフラットベッド  
プリンターの売上高

約**30% UP**



- 新製品 LEF-300の発売



- リテイル用途での導入拡大



- 欧州以外へのリテイル  
ソリューション横展開促進



# リテイル事業の拡大

- デスクトップ製品群やソフトウェアを活かしたソリューション提供
- 顧客層の拡大  
(大型スーパー ⇒ 中小スーパー、家電量販店など)





# サイン:市場の状況

単価が下落、収益性が低下

販売台数



売上高



※サイン用プリンター売上と販売台数イメージ

## 顧客/ブランドの維持



- 新技術・新製品の提供
- サービスを含めた価値提供



# サイン:新製品の投入

## 新ヘッド、新インク搭載 モデルのラインナップ増強

- 新ヘッド、新インクにより鮮やかで高画質なプリントを実現
- スマートフォンやタブレットで各種設定ができる Roland DG Mobile Panel

# TrueVIS

2016年7月発売 **VG-640 / VG-540**

2016年9月発売 **SG-540 / SG-300**



Imagine.  Roland

# デジタルプリンティングの新たなビジネスモデル





Roland



DGSHAPE

イメージをカタ手に

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しです。これらは現時点（2017年2月17日現在）で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。



# APPENDIX

# 連結業績

	2015年度	2016年度		2017年度	
(百万円)	実績	実績	前期比	予想	前期比
売上高	47,024	<b>44,112</b> (48,469)	<b>93.8%</b> (103.1%)	45,600	103.4%
売上総利益	22,131	20,041	90.6%	20,800	103.8%
販管費	16,759	15,682	93.6%	16,200	103.3%
営業利益	5,371	<b>4,358</b> (6,082)	<b>81.2%</b> (113.2%)	4,600	105.5%
経常利益	4,955	<b>4,104</b>	<b>82.8%</b>	4,400	107.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,358	<b>2,705</b>	<b>80.6%</b>	3,000	110.9%
USD	121.06	108.88	89.9%	110.00	101.0%
EUR	134.36	120.40	89.6%	120.00	99.7%

( )内は為替影響を除いた実績値

# 品目別売上高情報

	2015年度	2016年度		参考) 2016年度		2017年度	
	実績	実績	前期比	前期 レート	前期比	予想	前期比
(百万円)							
プリンター	20,175	<b>18,027</b>	<b>89.4%</b>	19,832	98.3%	<b>18,640</b>	<b>103.4%</b>
プロッタ	1,476	<b>1,292</b>	<b>87.5%</b>	1,412	95.6%	<b>1,390</b>	<b>107.6%</b>
工作機器	3,951	<b>4,188</b>	<b>106.0%</b>	4,578	115.9%	<b>5,150</b>	<b>123.0%</b>
サプライ	14,978	<b>13,623</b>	<b>91.0%</b>	15,042	100.4%	<b>13,960</b>	<b>102.5%</b>
その他	6,443	<b>6,980</b>	<b>108.3%</b>	7,602	118.0%	<b>6,460</b>	<b>92.5%</b>
合計	47,024	<b>44,112</b>	<b>93.8%</b>	48,469	103.1%	<b>45,600</b>	<b>103.4%</b>

# 地域別売上高情報

	2015年度	2016年度		参考) 2016年度		2017年度	
	(百万円) 実績	実績	前期比	前期 レート	前期比	予想	前期比
日本	5,058	<b>5,305</b>	<b>104.9%</b>	5,305	104.9%	<b>5,660</b>	<b>106.7%</b>
北米	13,491	<b>12,360</b>	<b>91.6%</b>	13,742	101.9%	<b>12,470</b>	<b>100.9%</b>
欧州	16,434	<b>15,331</b>	<b>93.3%</b>	17,433	106.1%	<b>16,100</b>	<b>105.0%</b>
アジア	3,770	<b>4,094</b>	<b>108.6%</b>	4,262	113.1%	<b>3,740</b>	<b>91.3%</b>
その他	8,269	<b>7,021</b>	<b>84.9%</b>	7,724	93.4%	<b>7,630</b>	<b>108.7%</b>
合計	47,024	<b>44,112</b>	<b>93.8%</b>	48,469	103.1%	<b>45,600</b>	<b>103.4%</b>